

文学講座

源氏物語を読む

～桐壺～

(13回連続講座)

源氏物語は54の巻から成り、第1巻は桐壺(きりつぼ)の巻です。紫式部は第1巻から順に執筆したのではない、という説が学会では有力です。その説によれば、源氏物語の一部が世間に広まり有名になってから、桐壺の巻が書かれたこととなります。たしかに当巻は源氏物語の始まりにふさわしい、格調高い巻です。

桐壺の巻は光源氏の両親の出会いから始まり、光源氏が12歳で元服するまでを描きます。野分(のわき)の段など、名文の誉れ高い名場面が目白押しです。古文を読みながら、当時の慣習や儀礼についてもお話します。ご一緒に源氏物語の世界に浸りましょう。

【日程】初回 2019年3月3日(日)

～2020年3月1日(日)まで毎月第1日曜日

【時間】14:00～15:30

【参加費】6,000円(全13回分、資料代含む) ※初回に支払い

【場所】長岡京市中央生涯学習センター 6階 創作室1

【定員】40名

【持ち物】筆記用具

【講師】岩坪健さん(同志社大学文学部教授)

2月5日(火)10:30～受付開始

申込方法＝電話、FAX、センター1階窓口

◇申し込み・問い合わせ

長岡京市中央生涯学習センター

(指定管理者：大阪ガスビジネスクリエイト(株))

電話＝075-963-5500

FAX＝075-963-5504



※お預かりしました個人情報は長岡京市中央生涯学習センターが責任を持って管理し、講座・イベントの運営以外の目的には使用いたしません。
※講座・イベント中、記録や広報目的のために写真・動画を撮影し、ホームページ等で使用する場合があります。予めご了承ください。